

みんな元気に川下りにチャレンジ

今年度は横手市立南小学校の6年生児童とPTAの協力のもと、横手川（一級河川）でラフティング（ペットボトルを組合せた手作り筏）に取り組みました。ラフティングでは筏の上にメッセージボードを掲げ、普段なかなか川で遊ぶことのない児童が、父兄の協力のもと存分川下りにチャレンジしていました。ラフティングの合間には、横手川の源流の話やこの水が普段飲み水として利用されていること、農業用水や地域用水として欠かせない大切な資源であることなど、色々な話を交えて児童に説明をしました。

その他に、横手川漁協共同組合のご協力により投網の実演をしていただき、目の前で魚を取り横手川の生育状況を紹介しました。児童にとっては初めての体験ばかりで、運動を通して川をきれいにすることや、水の大切さ、生物の尊さなどたくさんのお話を学習出来たと思います。



活動体制	
実施主体	水土里ネット南旭川（秋田県南旭川水系土地改良区）
後援・連携	水土里ネット秋田、横手地域資源保全隊
実施期間	平成24年9月7日
参加者	横手市立南小学校児童 122名 同PTA 96名、教職員 6名、漁協共同組合 2名、横手地域資源保全隊 8名、土地改良区職員 3名 計237名
報道関連	
活動実施年数	6年目（H19年～）
連絡先	〒013-0060 横手市条里一丁目1-70 秋田県南旭川水系土地改良区 TEL.0182-33-7200
その他	さなえ賞（H19）、県奨励賞（H19）、県知事賞（H22）、東北大賞奨励賞（H23）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット南旭川（照井 元）

○活動の目標及び達成率	目標 水に触れ、水資源を理解する。 達成率 90%				
○活動に対する評価	・学校教育の一環として、児童同士が協力し筏を作成し水の体験（学習）をすることが出来たと思う。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	ブースを設け運動のPRに努めた
①役職員・組合員の参加	B	地域の皆さんにもっと参加していただく	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	A	横手地区資源保全隊合同で取り組んでいる	①他組織との連携構築	A	今回は新たに漁協組合との連携が繋がった
2. 活動の意義性について			②地域住民等の理解	A	回数を重ねる毎に小学校や地域住民に理解をいただいている
①基本理念の設定	A	将来を担う児童の育成に努めた	③施設管理・地域資源の保全強化	B	地域の水資源の保全、理解に繋がった
②地域の歴史等の伝承	B	学校の恒例行事に取入れた	④運動の地域づくりへの関わり	A	年々関わりは大きくなっている
③運動の先駆性	A	色々な体験を通じ児童、父兄の反応が良かった	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	A	資源保全隊と連携を取り事業に取り組んでいる
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	川の水が農業用水に欠かせないものだ、理解してもらった
①運動の継続性	B	継続的な運動に取り組んでいる	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	A	横手市内の小中学校に回り、運動を年々広く展開している	・見たり、触れたり、身近で感じたり、児童の思い出に残る運動を展開していきたい。		
③運動の計画性	A	小学校、資源保全隊と年度計画の立案している			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他